

あやがわ

# 議会だより



陶小学校入学式（4月8日）

定例会のあらまし .....	2～3P
委員会報告 .....	4～6P
一般質問に5人が登壇 .....	7～9P
編集後記 .....	10P

2010  
No. 16  
平成22年4月22日

発行 綾川町議会 〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地  
TEL 087-876-0733 FAX 087-876-3660  
議会だよりは綾川町ホームページから見ることができます

# (前年度比4.2%減)

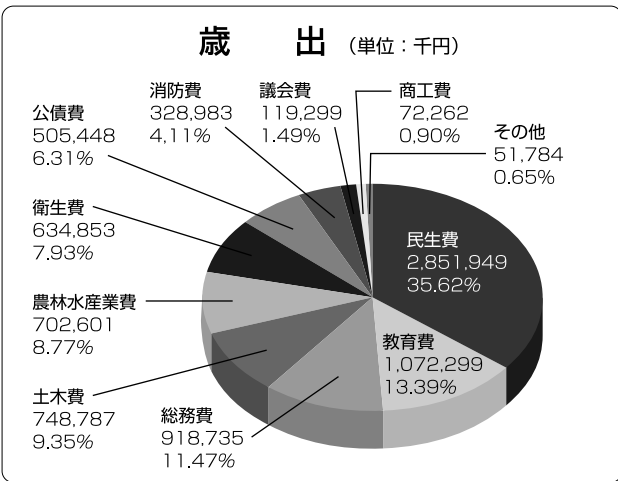
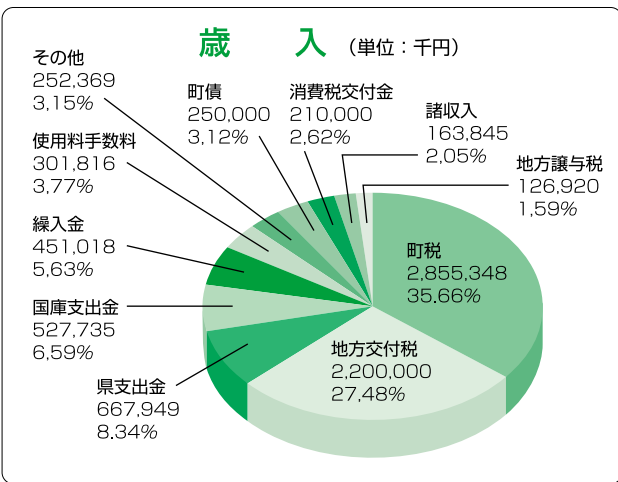
## 生涯学習センターに着手

3月定例会は、3日から19日までの17日間の会期で開催した。

開会初日には、町長から22年度の施政方針および22年度一般会計予算、14特別・事業会計予算、21年度の13会計補正予算案など39議案と諮問・報告各1件の提案理由の説明があった。

施政方針では「本町を取り巻く社会経済環境は厳しいと予想されるが、綾川町第一次総合振興計画に則り、引き続き行財政改革に取り組み、それぞれの施策を着実に推進する。地域の主役である『住民が望む町』となるよう全職員一丸となって努力することを誓う」と決意を述べた。

8日の本会議の一般質問(7ページ)には5氏が登壇し、「子宮頸がん検診」「日中友好」「ペット公害」「医療費無料化」



### 町税は前年比5.7%減・地方交付税は同額の見込み

歳入は、近時の経済動向を勘案し、町税28億5335万円、地方交付税22億円、県支出金6億6795万円、国庫支出金5億2774万円、繰入金4億5102万円などを見込んでいる。

歳出は、民生費が28億5195万円、次いで教育費が10億7230万円と高いウエートを占めている。

新規事業の主なものは、生涯学習センター建設工事、昭和統合保育所整備、小規模多機能型介護施設整備、町道西浦線道路新

「重要施策の合意形成」などについて町執行部の考えをたざした。同日、提案された議案を総務、厚生、建設経済の各常任委員会(4ページ)に付託した。

最終日の19日に本会議を再開し、付託された議案及び追加議案・意見書案各1件などの委員長報告を行い、総括質疑、討論・採決の結果、提案された議案すべてを可決して閉会した。

を再開し、付託された議案及び追加議案・意見書案各1件などの委員長報告を行い、総括質疑、討論・採決の結果、提案された議案すべてを可決して閉会した。

#### ●特別会計

●町営バス運行事業  
歳出はバス運行委託料。歳入は一般会計からの繰入金と運賃収入など。

●国民健康保険  
歳出は保険給付費、共同事業拠出金、後期高齢者支援金など。

歳入は国庫支出金、前期高齢者交付金、国民健康保険税など。

●国民健康保険診療所  
歳出は施設管理費、医療用消耗機器具費、公債費など。

歳入は診療収入、一般会計からの繰入金、介護サービス収入など。

●後期高齢者医療  
歳出は後期高齢者医療広域連合納付金。

歳入は後期高齢者医療保険料、一般会計からの繰入金など。



# 22年度 一般会計当初予算

# 80億700万円

## 特別会計

会計名	予算(千円)
町営バス運送事業	37,457
国民健康保険	2,729,724
国民健康保険診療所	179,772
老人保健	1,605
後期高齢者医療	320,722
介護保険	2,279,569
火葬事業	43,271
墓園事業	73,373
農業集落排水	9,524
下水道事業	640,993
育英事業	12,682

- ◎**介護保険**  
歳出は施設介護、居宅介護、地域密着型介護サービス給付費など。  
歳入は支払基金交付金、国庫支出金、一般会計等繰入金、県支出金、保険料など。
- ◎**火葬事業**  
歳出は綾川斎苑施設管理運営費。  
歳入は一般会計からの繰入金、斎苑使用料など。
- ◎**墓園事業**  
歳出は各所墓園管理費、新羽床墓園施設整備費。  
歳入は羽床墓園移転事業、業県補償金、墓園事業基金繰入金、一般会計繰入金。
- ◎**農業集落排水**  
歳出は排水施設管理費、償還金および利子。  
歳入は一般会計繰入金、排水施設使用料など。
- ◎**下水道事業**  
歳出は下水道施設整備費、償還金および利子、中讃流域下水道維持管理負担金など。  
歳入は下水道事業債、一般会計からの繰入金、使用料など。
- ◎**育英事業**  
歳出は育英事業費(貸付金)など。  
歳入は育英基金繰入金、貸付返済金など。

既定の予算額から1億864万円を減額し、86億8859万円とした。歳出では、教育費1億3299万円(中学校改築工事設計委託料・小学校建設費を含む)、民生費8074万円(保育所施設整備費・子育て応援特別手当支給事業費を含む)、庁舎改修工事費などを減額し、情報基盤整備基金積立金3億円、福祉充実対策費(旧羽床上小学校耐震補強及び改修工事を含む)などを増額した。

## ●21年度一般会計 補正予算

## 公営企業会計

会計名		予算(千円)
陶 病 院 業	事業収益	1,442,117
	事業費用	1,440,825
	資本的収入	36,002
	資本的支出	81,857
介護老人 保健施設	事業収益	304,561
	事業費用	298,856
	資本的収入	0
	資本的支出	0
水道事業	事業収益	625,820
	事業費用	567,432
	資本的収入	1,200
	資本的支出	185,282

### 意見書を可決

### 核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

(前文省略)

1. 政府は、国是である非核三原則を堅持するとともに、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の廃絶を目指す「2020ビジョン」を支持し、その実現に向けて取り組むこと。

2. 非核兵器地帯構想が世界平和の維持に重要な意義を有していることに考慮し、暫時、世界各地に非核兵器地帯条約が実現するよう国際協力を行うこと。特に、朝鮮半島と日本を含めた北東アジア非核地帯構想を早急に検討すること。

3. 核拡散防止条約(NPT)の遵守及び加盟促進、包括的核実験禁止条約(CTBT)早期発効、核実験モラトリアムの継続、兵器用核分裂性物質生産禁止条約(カッタオフ条約)の交渉開始と早期妥結に善処で取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月19日

香川県綾歌郡綾川町議会

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣

### 人権擁護委員の 推薦同意

委員の任期(平成22年6月30日)満了に伴い、同氏の推薦に同意した。

西山義博氏(61歳)

綾川町粉所西甲

1506番地1

新任



# 本庁舎の耐震及び 増築工事が完了

平成21年6月25日から  
着工した綾川町本庁舎の  
耐震補強と増築工事は順  
調に進み、22年3月12日  
に工事引き取り検査を行  
ない工事が完了した。  
これまで手狭で町民の

皆様にご不便をかけていた  
が、この工事により、利  
便性と災害に備えた拠点  
としての整備が図られる。  
工事費は2億362万65  
00円。



耐震工事が完了した本庁舎

## 生涯学習センターの 建設工事費を計上

生涯学習センターは、  
図書館と資料館の機能を  
併せ持ち、町民皆さんの  
生涯学習の拠点とし、学  
習、文化、生活の活性化に  
寄与するものと考えてい  
る。場所は本庁舎東側。

**問** 現在の図書館（滝宮）  
の土地、建物は将来どの  
ように活用するのか。

**答** 土地は町有地であり、  
建物は23年度に、生涯学  
習センター建設後に撤去  
したい。その後、活用に  
ついて検討する。

**問** 生涯学習センターの  
建設に関連した本庁舎周  
辺の道路改良予定がある  
が、滝宮小学校の通学路  
でもあり、十分に配慮さ  
れたものか。

**答** 滝宮病院の改築等の  
予定も併せてあり、道路  
改良工事にあたっては、  
児童の安全に配慮した事  
業計画をしたい。

**問** 国道32号線から生涯

学習センターへの進入路  
を取り付けてはどうか。

**答** 現状では難しい問題  
もあり、今後の検討課題  
としたい。

## 町の情報伝達は

**問** 町の発行する広報紙  
の戸別発送件数が増加の  
傾向にある。今後の情報  
伝達の考え方は。

**答** 戸別発行増は、社会  
増によるもの、開発によ  
る小規模団地の未組織な  
どが考えられる。

今後はインターネット  
を利用した広報などの配  
信についても研究したい。

## 消火栓用ホースの点検は

**問** 消火栓用格納箱に収  
納されているホースの耐  
用年数と機材の点検は。

**答** 保管状況にもよるが  
耐用年数は10年程度。各  
消防分団で適時対応を図  
っていく。

## 学校再編の議論は

**問** 中学校建設は平成29  
年度統合と「学校再編検

討委員会」では答申され  
ている。執行部としてこ  
れをもとに、具体的施策  
を進めるとの説明がある  
が、納得できない内容が  
含まれている。また、保  
護者への周知も十分とは  
いえない。今後どのよう  
に考えていくのか。

**答** 「学校再編検討委員会」  
の議論の中でも多様な意  
見があった。これを踏ま  
えての答申であり、執行  
部として事業の推進を図  
ることにした。

今後、あらゆる機会に  
説明し、町民皆さんの理  
解と協力をいただけるよ  
う周知に努めたい。

## 羽床小学校は平成26

**問** 羽床小学校は平成26  
年度に統合の予定だが、  
2年前に大規模改造を行  
なった施設であり、跡地  
利用や費用対効果の議論  
も生ずる。

校区の見直し等も必要  
と考えるが。

**答** 指摘のとおりだが、  
子供の安全、安心と教育  
環境の整備は必要と認識



見直しがせまれる町営バス

している。  
学校再編がもたらす影  
響は大きいと理解したう  
えで、綾川町の中期的な  
教育環境の創出の観点か  
らとりまとめた。

## 町営バスの 運行見直しは

**問** バス利用者の減少傾  
向が続く中、路線変更も  
含めた分析を行なう必要  
があるのではないか。

**答** 高齢化が進む中、交  
通弱者等に配慮しながら、  
各方面の意見を聞き総合  
的に考え今後に生かして  
いきたい。



医師確保難航も、現行体制を維持

町立診療所

県から22年度は常勤医師1名の派遣がなくなる。

そのため、県立中央病院と陶病院から、それぞれ週2日ずつ医師が派遣される。

診療所の診療時間は、

綾上診療所

羽床上診療所

粉所診療所

（月曜日～金曜日）

（土曜日）

（火曜日）

（金曜日）

（土曜日）

（日曜日）

（月曜日）

（火曜日）

（水曜日）

（木曜日）

受けることになっており、当面の間は現行の診療体制を維持していきたい。

診療時間

綾上診療所

（月曜日～金曜日）

午前8時30分～午後5時

（土曜日）

午前8時30分～正午

粉所診療所

（火曜日）

午前8時30分～午後5時

羽床上診療所

（金曜日）

午前8時30分～午後5時

学校再編検討委員会

の答申を受け実施

24年度までに昭和北保育所と昭和南保育所の統合、綾上地区の保育所と幼稚園を山田保育所に統合する方針が示された。

問 保育所統廃合の予算

が計上されているが、事業の進め方や幼児教育に関する将来ビジョンは。

答 旧町時から保育所統廃合について検討し、行革大綱にも示している。

今回、学校再編検討委

員会の答申も出され、幼児教育は幼稚園・保育所差異はなく教育されており、教育専門家の助言も頂き、統合しても問題はないものと考えており、町の方針について理解が得られるよう説明会を実施し、計画を推進していく。

多機能型居宅介護施設

の負担は

問 社会福祉協議会が計画をしている小規模多機能型居宅介護施設での、町と社協の負担区分、工事費や備品購入等の内容、施設を譲渡するのか貸与するのか。

また、社協の実施している一部事業が他の民間事業者の経営を圧迫しているのではないかと。

答 施設整備は、旧羽床上小学校校舎を一部使うための施設改修費や設計監理料、特殊浴槽や介護ベッド、給食調理の備品購入費等は町が負担し、社協に無償貸与する。完了後の施設運営に必要な他

の備品購入は社協が負担する予定。

子ども手当へ移行

従来の「児童手当」が「子ども手当」となり、中学校修了までの子ども1人につき、平成22年度は月額1万3000円を給付する。対象者は約3300人。

弔慰金を改正

従来は届出者の住所地で支給していたが、22年度からは亡くなった方が町内在住者を対象とし、住所地特例は除き、金額は、3000円から5000円に引き上げる。

国保条例の一部改正

社会保険等の被保険者本人が後期高齢者医療制度に移行のため、残された被扶養者が国保に加入した場合、保険料の軽減措置を資格取得から2年間としていたが、後期高齢者医療制度廃止までの期間継続するため。

問 大きく変わる国の国民健康保険制度は。

答 財源の確保は、国の調整交付金等歳入の確保は不確定要素が多くあり、常に最新の情報を得るよう努める。



子どもの成長を願って

問 22年度は2診療所で常勤医師1名だが、派遣の見通しが無い。これまでの体制を維持することが出来るのか。また、各

### 農業委員の業務量増大の対応は

**問** 農業委員の権限強化により業務量も増大すると思うが、農業委員の補助員の設置は。

**答** 農地の流動化や遊休農地の調査及び解消等業務が増えると思われるが、報償金等に対応していきたい。

**答** 生活研究グループが、町の特産物を使って商品開発をしている支援であり、すでに漬物や母を使つての商品を販売している。

**問** 7人槽の浄化槽予算が減額になっているが理由は。

**答** 21年度の実績に基づいて予算を計上した。

**問** 特産品開発プロジェクト支援事業の内容は。

**問** 有害鳥獣駆除対策の補助対象は。

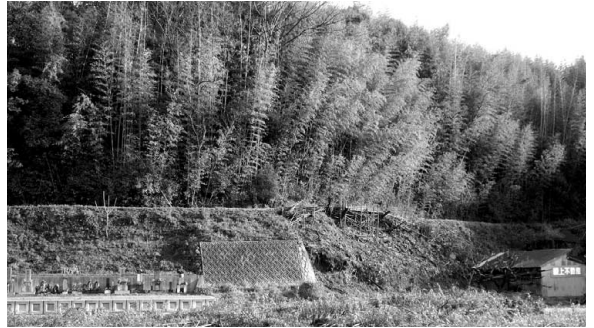
**答** 予算を超えた場合は、できる限り捕獲実績の有害駆除数に対応したい。

### 水源かん養を

考えて竹林伐採を

**問** 竹林伐採は水源かん養などの意味合いからもタムの上流での実施が望ましいと考えるが。

**答** 水源かん養、災害



伐採した竹林

**答** 閑散期における利用率向上のため、地元産品の利用やグリーンツーリズム的な体験企画を計画したい。

### キャンプ場の

人づくりは

**問** キャンプ場施設の経営の健全化にあたり、まず職員の専門的な人づくりが大切であると思うが。

**答** 接遇などは非常に重要と考えているので、現場と意思疎通を図り運営していきたい。

**問** 町道の舗装修繕の基準は。

**答** 緊急性を要する箇所は即時対応し、痛んでいる箇所は現地踏査をし、年次計画をたて、計画的に舗装修繕を行っている。

**問** 通学路の舗装を。

**答** 通学路が町道であれば、舗装できるが、そうでない場合は、採択条件にあえば生活道舗装事業

補助金制度を利用していただきたい。

**問** 下水道事業の公債費が増加するが、合併浄化槽での整備を含めた事業の見直しは。

**答** 下水道の認可区域内の整備率は21年度末で約90%近くになり引続き普及促進を図る必要性がある。合併浄化槽でも汚水処理整備率向上のため整備を進めており、今後全体計画の見直し時に検討していきたい。

### 大型店舗で

水道水の増加は

**問** イオン等の大型店舗ができたことにより使用量の増加が見込めるのでは。

**答** 20年7月のイオンオープン以降で、1万5000トンの増はあったがイオンの使用量が年間8万6000トンあつても、それ以外の使用量が近年減少傾向にあり、今後も減少する見込み。

### 新名地区の水道の進捗は

**問** 新名地区の水道供給は地元協議し、措置することになっているが現段階での状況は。

**答** 21年度で新名地区を給水区域に編入するため変更認可の手続き中であり、工事費で国の補助を受けるための手続きが22年度の作業となり、どの範囲を整備していくのか地元と調整していく。

**問** 生子系連絡管整備に伴い、県から増水を求められているのではないかと。

**答** 県水を増やすことが目的でなく、渇水時に県水と綾上浄水場系とを相互融通することが目的であり、現在、県水の枠は一日当たり3000トン。現段階で増やす計画はない。

◎9月議会で議決した町営住宅の明け渡し、滞納家賃及び損害賠償の支払いに対する各種訴えの提起は、22年3月26日に強制執行。



生活研究グループの皆さんが作ったお弁当





## 田辺 健次 議員

**Q** 子宮頸がん無料クーポンを  
**A** 受診率の向上を図る

受診、また、職場での集団検診ができる制度にはできないか。

今後どのような方法で

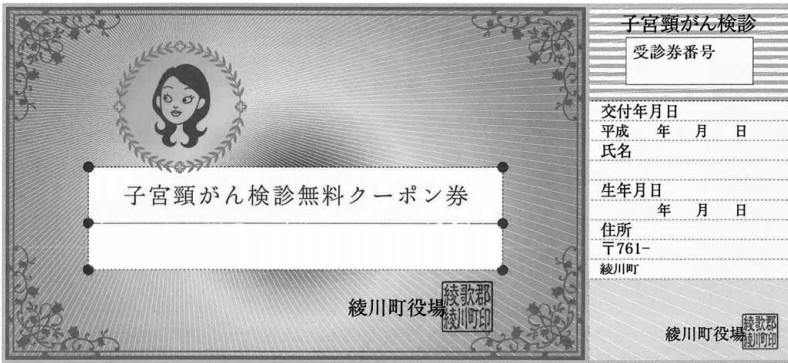
受診率を上げ、更に早期発見のため、検診年齢を10代にさげてのクーポン券の発行、また予防フワチンの補助はできないか。

**町長** 女性特有のがん検診推進事業については、平成22年度からは2分の1が補助され、残り2分の1は交付税措置される。町外での受診は町内検診機関と同様の条件では出来ないため、不可能である。

啓発については、

チラシ配布、受診券の交付、未受診者への個別案内の送付、町広報紙や健康カレンダーなどで啓発を行なっているが、なお一層の広報紙、防災行政無線等を通じて受診率向上に努

力する。また、10代でのクーポン券発行については国の補助制度にそった検診を推進していく。新しいフワチンは任意接種であり、これに対する補助制度は今のところ無く、町としても今後、県に対する要望、さらに町村会などを通じて国に制度化していただくよう要望していく。



子宮頸がん検診無料クーポン券

## 大谷 照美 議員

**Q** 日中友好の成果は

**A** 友好都市との親善を深めた

**問** 多年に渡り日中友好を推進してきたが、町としては特別に得るものは無かったように思う。

**町** に中国観光客を招き、活性化を図るべきではないか。また、観光土産品がないので、開発する必要があると思うが、町長は従来の交流でいいと思っっているのか。

**農家の対策** として生産した米を農協へ出荷するのではなく、中国向けに販売してはどうか。

**最後に、町民各位の幸** せと綾川町の益々の発展を祈念して160回目の質問を終わります。

**町長** 中国との交流は平成6年（平成7年5月23日の友好都市締結）に、中国新楽市との交流が始

る。勇心酒造の化粧品作りも非常に高い関心をもたれているので、有用な観光資源の一つになると期待している。

日本産米の中国向け輸出は、植物検疫条件により、中国側が承認した精米工場で精米されたお米のみ輸出できるため、輸出をするためには、精米工場の承認または、委託精米を行う必要がある等、各種の条件を満たさなければならぬので、今後の研究課題としたい。

平成7年に新楽市と友好都市の提携を結び、この間、経済、農業、文化、人事交流等において友好親善を深めてきた。今後、中国との交流の中に、わが町へ、中国をはじめ海外からの来町者が増加し、農業をはじめとする産業の中で町特産品などがPRできればと考えてい



友好都市の新楽市

# A Q

## 迷惑なペット公害

### マナー向上を呼びかける

問 犬、猫などのペット

を飼う人のモラルの低下により、ペット公害といえる事例も増加している。鳴き声がうるさかったり、悪臭がしたり、大量の犬を無登録状態で飼っている現状がある。

病予防法で過去に町内で罰則を適用された事例はあったか。

動物と共存できる心豊かな町作りをどのように考えているのか。

町長 町内の犬の登録数は、18年度2305頭、21年度は1月末現在で2220頭とほぼ横ばい状態である。

と暮らすものの責任と、守るべきルールがあることを徹底することが必要である。

①町内の犬の登録件数の推移はどのようになっているのか。②去勢手術の予算が計上されているが件数は何件か。③狂犬病予防法は、飼い主にいくつかの義務が課せられており、狂犬病注射もそのひとつであり、違反した場合の罰則は。④狂犬

不妊去勢手術費の補助は1頭当たり3000円、年2頭までを条件に補助し、20年度は犬48頭、猫102頭という状況である。狂犬病予防法では、犬等の輸出や輸入時に検疫を怠った場合や、狂犬病にかかった犬の届出や隔離をしなかつた者には、30



狂犬病予防注射の実施会場

問 21年度予算で、イオン出店による固定資産税は、約1億2000万円計上された。22年度は大型量販店もオープンするが、これらに予定している固定資産税はいくらなのか。また、増収分は住民のために回すように。

町長 21年度ベースで、土地分で税額が3440万円、建物や店舗の償却資産で1億6870万円、総額で2億310万円であり、22年度も概ね同額

## 安藤 利光 議員

Q 固定資産税の増収分は、住民に還元を増収分の約2億円は、効果的に活用

# A



イオン綾川ショッピングセンター

問 21年度予算で、イオン出店による固定資産税は、約1億2000万円計上された。22年度は大型量販店もオープンするが、これらに予定している固定資産税はいくらなのか。また、増収分は住民のために回すように。

町長 21年度ベースで、土地分で税額が3440万円、建物や店舗の償却資産で1億6870万円、総額で2億310万円であり、22年度も概ね同額

問 子どもの医療費の心配をなくすことは、子育て支援にとり重要な施策である。

町長 昨年支給対象年齢を1歳延長し満7歳未満としたばかりである。24年度からはじまる次期5カ年計画で他の事業との調整を図る。



石井 和義 議員

**A** **Q**

町民の合意形成の手順は  
理解と協力が  
得られるよう説明する

**問** 保育所の統合や幼保の一元化。小・中学校の統合など学校再編検討委員会の答申を尊重することのだが、今後、町民の合意形成をどのような手順で進めるのか。

**教育長** 検討委員会の中でも意見があり、答申書に「教育現場や地域に十分な周知を行い、広く町民の理解と協力が得られるように」と、明記されている。

町民の理解と協力を得るため、町広報紙での周知や自治会連合会理事会、PTA連絡協議会、婦人団体連絡協議会などの会議にて説明してきた。また、近隣地権者への協力依頼や説明とともに、2校の中学校とも、今後

の工事に対する要望や対応を定期的に打ち合わせている。

今後幅広く町民の意思を尊重し、理解と協力が得られるようにあらゆる機会を捉えて説明する。

**Q** 住民の不満の声 どう受け止める

**A** 説明し理解を得ている

**問** 確定申告納税相談会場が半減した。合併年の07年は10会場。本年は山

田・昭和・陶の公民館と綾上・綾南改善センターの5会場に半減した。

町民から「投票所は遠くなり、税金の申告相談会場もなくなり不便になった」と。これらの声をどう受け止めるのか。

**町長** 会場を減少した理由は、納税者の確定申告用紙を作成する際、手書き方式からパソコン入力方式に切り替え、各会場の相談人数を一日平均約150人目途に調整し、待ち時間の平均化、相談事務の効率化と混雑を回避するもの。

従来より遠くなり、不便をかけることについては、申告会場にて説明し、理解を得ている。

ほかにもこんな  
質問がありました

**問** 県は、新農業試験場を23年度完成予定と発表したが、同施設とタイアップし、農産品開発や特産品等の発信、また用地協力者雇用の考えは。

**答** 町は、「さめぎの夢2000」「さめぎ姫」「さめぎのめざめ」など、新品種が開発された折、助成制度を創設し栽培面積の拡大および販売促進を図ってきた。今後も続けていく。雇用は、地元採用を当初より要望しているので再度要望する。

**Q** 後期高齢者医療 保険料は

**A** 引き下げる予定

**問** 4月に改定される後期高齢者医療保険料は、75歳以上の人口増加によって際限なく上がる仕組みです。香川はどうか、短期保険証を発行された人は何人か。一刻も早く制度廃止を国に要望を。

**答** 県の保険料は、所得割率8・98%、均等割額4万7700円。22年、23年度は余剰金を充当し、所得割8・81%、均等割額4万7200円に引き下げる予定である。短期保険証は2名の方に交付している。町としても早く新制度に移行できるよう、後期高齢者広域連合を通じて要望したい。

**Q** 乗合タクシーの 運行事業を バス交通を 総合的に検討

**A** 東分など空白地から 出されているバス路線の 検討と同時に、まんのう 町のように、交通不便地 域の解消を図るために、 乗合タクシー運行事業を、 昨年からしているが町も 検討している。

**答** 現在の5路線のみで町内をくまなく運行することは難しい。今回、行革大綱及び集中改革プランの見直しを行い、バス交通の総合的検討を行うこ

とされている。先進地で実施しているデマンドバスについても研究し、より利便性の高い町営バス運行ができるよう努めたい。

**問** 町消防団は旧町名の別があるが、一体感や意識の高揚を図る上にも「綾川〇分団」に名称変更しては。また、被災時等の出動エリアも旧町に拘らず再考する考えは。

**答** 各分団の名称や招集範囲は合併時の消防役員会で決定したもので、その後も幾度か協議したが現在に至っている。今後、行革大綱の協議や同役員会でも検討する。



昭和北保育所



昭和南保育所



山林火災防ぎょ訓練

# 議員表彰

議員在職15年以上の地方自治功勞として、2名が表彰されました。

## ◆ 全国町村議会議長会表彰

(議員在職15年以上)



福家良治  
議員



村瀬秀則  
議員

# 議会誌



1月13日 広報編集委員県外研修 (岡山県久米郡美咲町)

20日 厚生委員協議会 (施設訪問)

22日 議会運営委員会 臨時会 全員協議会

27日 総務委員協議会 (施設訪問)

27日 福島県広野町議会行政視察来庁

29日 建設経済委員協議会 (現地踏査)

2月4日 議員県外研修 (広島県安芸郡府中町)

5日 議会運営委員会

10日 綾川斎苑「やすらぎの丘」竣工式

15日 後期高齢者医療広域連合議会定例会

18日 香川県町村議会議長会総会

23日 議会運営委員会 本会議

3月3日 全員協議会

8日 本会議 広報委員会

9日 総務常任委員会

11日 厚生常任委員会

12日 総務委員協議会

16日 建設経済常任委員会

19日 議会運営委員会

25日 全員協議会 本会議

26日 広報委員会

29日 社協評議員会

31日 瀬戸・高松定住

31日 広報委員会

31日 自立圏推進委員会



3月定例会 本会議 (3月3日)

## あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢  
を記入だけです。

3月定例会の傍聴者数は7名でした。

次の定例会は6月の予定です。



# 編集後記

平成22年度予算算も厳しい財政事情のもと、基金を取り崩しての予算となりました。行政改革に取り組み、町第一次総合振興計画に則り、施策を推進していくつもりです。

さて、私達が編集してきた、議会だより第16号が皆様のお手元に届く頃には、新しい議員が誕生していると思います。

次号からは、新議員に選出された方に、新しい気持ちで議会広報の発行をお願いすることになります。

最後に、綾川町の夢ある将来に向けて、幸多からんことを祈り、ご愛読頂いたみなさんにお礼を申し上げます。

## 議会広報編集委員会

- 委員長 松浦 正昭
- 副委員長 安藤 利光
- 委員 中西 一幸
- 委員 造田 節夫
- 委員 長尾 進
- 委員 石井 和義